



すぎのこつうしん

平成30年2月 古川東町カトリック保育園



「謝り合う心を育みましょう」

大寒波が到来、しんしんと雪が降り、翌朝は一面の銀世界。大人は雪かきに汗ですが、子ども達は大喜びで雪の中を駆けまわっていました。そんな時、保育園の玩具小屋の前の雪をかいていると、次々にスコップを持って一緒に雪かきをしてくださいとさぎ組の2人とこねこ組の1人の男の子、砂と混じった雪の色を見て「ポツーンみたいだね」と言いながら楽しそうに手伝ってくれました。大人のすることをよく見ていて手伝ってくれているですね。とても嬉しかった朝でした。

さて2月の目標は「謝り合う心を育みましょう」です。

私が小学生の頃だったと思います。父親がいつも使っていた眼鏡を落として壊してしまった事がありました。箱にひびが入ってしまったのです。蓋を開けていけば分からない状態でしたが、いつ見つかるかとドキドキしていました。あまりにドキドキしてこれを終わらせるにはどうしたら良いかと考えました。考えに考えて出した答えは、父親に正直に謝ることでした。いつ発見されるかとハラハラしているよりは早く話してしまおう、それで叱られても自分がしたことから仕方がないという思いでした。夕方、家に帰って来た父親に決死の覚悟で謝りました。すると、意外な言葉が返って来ました。「よく正直に謝った。これからは気を付けるように」という言葉でした。その言葉に正直に謝ってよかったと心から思ったものでした。

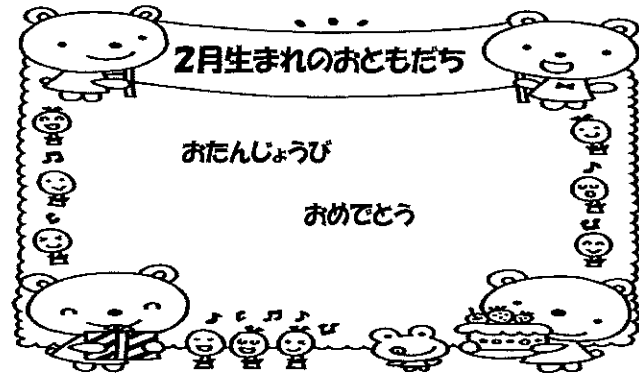
謝ることは大人になると尚更、いろいろな心が邪魔をし、素直に謝る事が出来なくなるものです。自分の過ちを認めたくない心、傲慢な心、謝っても赦してもらえないんじゃないかという不安等々、様々な心が入り混じります。ならば、小さい子どもうちに素直に謝れる心を育んでいけば謝ろうという気持ちも心の中に住み着くのではと思います。その為にはそれを赦す大人がなくてはなりません。素直に謝る子どもの心を認め、赦すことを知らせていって欲しいと思います。大人があまりに完璧主義だと、子どものちょっとした事も赦せなくなります。それどころか自分自身をも赦すことが出来なくなり、苦しんでしまう事にもなりかねません。人間は完璧では決してありません。一生けん命努力する事が大切なんだと思います。子ども達と同じで、成長するプロセスが大事なのです。子ども達と一緒に成長していく、私たち大人でありたいと思います。

< 園長 平野義子 >



行事予定

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1日(木) 静修の日 | 17日(土) 保育参観・新年度説明会 |
| 2日(金) 節分の集い | 21日(水) 破牙神ライザ龍ミニショー |
| 6日(火) 卒園記念写真撮影 | 24日(土) 新入園児説明会 |
| 16日(金) 誕生会 | * 避難訓練 |



2月のうた

いちわの といさえ

1. いちわのといさえ かみさまの ゆたかなめくみに まもられて
よろこびたい まいあそぶ まいあそぶ
2. ひとつのはなさえ かみさまの ゆたかなめくみの あめうけて
いろいろつくしき さきにおう さきにおう
3. おさなわたしも かみさまの ゆたかなめくみを たたえつつ
まことのみちを ひとすじに ひとすじに

雪のペンキやさん

1. ゆきのペンキやさんは おどらからちらちら おやねも かきねも ごもんもみんな
まっしろくまっしろく そめにくる
2. ゆきのペンキやさんは おおげいでちらちら おやまも のほらも はたけもみんな
まっしろくまっしろく そめにくる



おとうさん・おかあさんから

産まれて2ヶ月から通い始めた〇〇。保育園に行くことが当たり前で、行きたくないと言ったことがないくらい保育園が大好きでした。それもこれも先生方のご指導やかけがえのないお友達ができたお陰だと思っています。先生方、お友達みんな、ほんとうにありがとうございます。

長女で負けず嫌い、素直に甘えることができないことも多く、次女が産まれて不安定な時期にもゆっくと向き合って接して下さったこと、感謝でいっぱいです。卒園する実感がまだまだ湧きませんが、残り少ない園生活を楽しく過ごせるよう見守っていきたいと思います。

< ひつじ組 〇〇 〇〇ちゃんのお母さん >



クラスだよ!

○ぼんび組(0歳児)

<ねらい>

- ・してはいけないことを知り、「ごめんなさい」と動作で表そうとする。
- ・指先を使った遊びを楽しむ。

<家庭連携>

- ・してはいけないことをした時は、表情やわかりやすい言葉で、悪いことだということを知らせましょう。
- ・指先を使った遊びを取り入れたら、食事の際にも指先を使うので自分で食べようとする姿も見守りましょう。

○ひよこ組(1歳児)

<ねらい>

- ・「ごめんね」「いりよ」と謝ったり赦すことを知る。
- ・正しいスプーンの持ち方を知る。

<家庭連携>

- ・いけないことをした時は「ごめんね」と素直に謝ったり「いりよ」と優しく赦せるようご家庭でも知らせていきましょう。
- ・手を添えながら正しい持ち方を知らせ、上手に持てた時はたくさん褒めましょう。

○こご組(2歳児)

<ねらい>

- ・相手の気持ちを知り、謝ろうとする。
- ・冬の感染予防に努め、健康に過ごす。

<家庭連携>

- ・小さなことでもお互いに謝り合い、子どもが素直に「ごめんね」と言った気持ちを受け止めてあげましょう。
- ・感染定にかかりやすい時期なので、お家でも手洗いやうがいを心掛けましょう。



○こねこ組(3歳児)

<ねらい>

- ・謝ろうとする心、赦そうとする心が育つ。
- ・危険を回避して遊ぶようとする意識が高まる。

<家庭連携>

- ・子どもの気持ちを受け止めた上で、何かいけなかったかを一緒に考え、素直に謝れるようにしましょう。又、赦すことの大切さも知らせていきましょう。
- ・安全に遊ぶよう働きかけていきましょう。



○うさぎ組(4歳児)

<ねらい>

- ・互いに謝り合う心、赦し合う心が育つ。
- ・文字や数字に興味を持つ。

<家庭連携>

- ・子どもの思いを受け止めた上で、相手の気持ちも伝え、一緒に考える中で謝ったり、赦したいができるようにしていきましょう。
- ・身の周りにあるひらがなや数字をさりげなく知らせ興味を持ち、読んだり書いたりしている姿を優しく見守りましょう。

○ひつじ組(5歳児)

<ねらい>

- ・相手の気持ちに気づき、謝ったり、快く赦し合う心が育つ。
- ・時間を意識して行動する。

<家庭連携>

- ・自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちを考えたり、聞きたいことができるよう働きかけていきましょう。
- ・身の周りの準備や食事をする時間などを決めて、時間内に行うことができるようにしていきましょう。



○給食室

- ・朝晩と冷えこみがきびしくなっています。保育園の子どもたちは「さむいさむい」と言い体をまるめています。聞く朝食を食べていけい子が多きようです。朝食を食べることで体温を上げ元気に1日をおくるための準備をします。必ず朝食を食べてくるようお願いします。



「謝り合う心を育みましょう」

いけないことをしてしまった時、相手に嫌な思いをさせてしまった時、素直に「ごめんなさい」と謝ることは大切なことです。私自身も謝ることの大切さは理解していますが、大人になるにつれて悪いことは分かっているものななか素直に謝れないことが増えました。自分の非を認め、それを言葉にして伝えることは簡単なことではありません。いけないことを叱るだけでなく、自ら謝ろうとする姿を見守ったり、謝られたことを褒める等謝れる環境を作ってあげること、素直に謝る心も育っていくのかなと思います。謝れる環境を作りながら、自分自身も素直に謝れているかを振り返り、子どもの手本となれるよう努めていきたいです。

<こねこ組担任 早川 美伶>

お断りとお知らせ

- ・手袋、帽子等防寒具に大きく名前を記入して下さい。
- ・大場千佳子保育士が転勤し、世永といたします。これからも変わらさようしくお断り致します。
- ・青木友香保育士が2月14日から産休に入ります。





2018年2月1日

あなたの一分間拝借

乳児期の人間性教育で一番大事な事は、社会性を身につけ思い遣りのある人間に育てることですが、実際はなんと言っても力を注いでいることは、基本的な生活習慣ではないかと思えます。親は誰でも、自分の子どもが一日も早く排泄、着脱、食事、手洗い、歯磨き等を自分で出来るように、所謂自立性に育児の心を向けっぱなしになってしまうものではと危惧する御仁です。

この基本的習慣には、二種類あることに心目を向け、「育児は育自」の哲学を生きて欲しいものです。そのひとつは体に基礎をおくものと、二つ目はこころ（霊性）に基礎をおくもの、即ち人格的生活習慣です。人にとってどちらも大切なことですが、前者にだけ力を注いで後者をおざなりにしていると、知らないうちに健全な家庭に望ましくない影をもたらします。それに気付いた時は手遅れの場合が多いと言われています。人生の十字架を共に背負う結果となるのです。

家庭内離婚、家庭内暴力等はその極め付け最たるものではないでしょうか。親離れしない子ども、子離れしない親、結婚後も親の意見を聞かなければ何でも判断できない人間、大学受験や就職試験にまで付き添う家族、お互いに「我」を張って我慢が出来ず、キレてしまう家族等…は人間が神のかたどりである人格的存在であることを認め、こころに基礎をおく精神的生活習慣を度外視した結果ではないかと識者は口をそろえて言っている声に傾聴して頂きたいと思えます。

2月のテーマは、「赦し合い、忍び合い、我慢し合う心の育成の努力しましょう」です。

他人の過ちや罪を赦すことは、大きな精神力がなければできないことです。精神的生活習慣の中でも特に内的力が求められるものです。他人の非を見て、テンションが上がってくる人もおります。でも、神は私たちに『絶対赦さない』というこころを戒めておられます。裁くのは神ご自身であり、「あなた方ではない」と。聖書にイエスのみ言葉が次のように書かれています。

『もし人の過ちを赦すなら、あなた方の天の父もあなた方の過ちをお赦しになる。しかし、もし赦さないなら、あなた方の過ちをお赦しにならない』（マタイ7の14）

『あなたが祭壇に供え物をささげようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したら、その供え物を祭壇の前に置いて、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰ってきて、供え物をささげなさい』（マタイ5の23～24）

聖書の言葉、イエスのご指示をこころの糧（かて）として肝に銘じ、2月のテーマを生活の場で活かし（いかし）、人間性向上の練習につとめましょう。

神は、おのおのの業（わざ）によって報いを与える！



古川カトリック教会
司祭 川井 啓